

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580407	図書館施設管理事業				主管課名	教育行政課			
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	小野田幸男			
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち								
		基本事業	図書館の整備								
	(1)事業の概要										
	図書館施設の維持管理を行い、安全で利用しやすい図書館サービスの提供を行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)				
							名 称		単位		
							入館者数(中央図書館)		人		
							開館日数(中央図書館)		日		
							その指標				
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
光熱水費の支払い。図書館運営に必要な窓口職員の配置。年に一度の曝書(棚卸し)を行い、図書資料と施設の維持管理。図書館通路修繕、屋上防水清掃修繕、屋上漏水修繕、屋上笠木防水修繕外。											
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容		閲覧用いす修繕、集水桝修繕、					
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
中央図書館						名 称		単位			
						延床面積		㎡			
						その指標					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
来館者が快適、安全に利用できる施設にする。						名 称		単位			
						図書館施設への苦情件数		人			
						その指標					
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を得てもらう。						名 称		単位			
						市民1人あたりの図書利用冊数		冊			
						その指標					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		人	96,628	94,458	95,000	95,000	96,000	96,000			
		日	289	290	289	289	289	289			
(6)の対象指標		㎡	879	879	879	879	879	879			
(7)の成果指標		人	10	10	9	9	8	8			
(8)の結果の成果指標		冊	5.8	5.7	5.8	5.8	5.8	5.8			
(10)予算費目											
会計		01 一般会計				款	10	項	05	目	04
(11)コスト											
年度		22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		42,722	23,237	22,821	22,821	22,821	30,291				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	21,977	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0				
	その他	千円	1	1	2	2	2				
	一般財源	千円	20,744	23,236	22,819	22,819	22,819	30,289			
人件費B		千円	23,605	23,796	23,796	23,796	23,796				
正職員従事時間×人数		時間×人	580×5	580×5	580×5	580×5	580×5				
正職員以外の人件費		千円	12,909	12,900	12,900	12,900	12,900				
その他費用C		千円	203	203	203	203	203				
トータルコストA+B+C		千円	66,530	47,236	46,820	46,820	54,290				
単位あたりコスト		千円/㎡	76	54	53	53	62				
(トータルコスト/ (6)の対象指標)		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580407 図書館施設管理事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	昭和53年4月	から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	図書館を建設し、図書館事業を開始したため。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	変化していない 変化している → 変化し開館33年を経過し、施設そのものが老朽化及び人口の急増により手狭である。	
		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
		施設が老朽化及び手狭になっているため、市民から新図書館建設の要望がある。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務 →	根拠法令	なし
			この事務を行う根拠又は理由	図書館で適正に管理運営するため。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく →	理由	
		結びつかない →		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 →	内容	
		できない → 縮小 →		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 →	内容	
		できない → 拡充 → 絞込み →		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい →	理由又は内容	
	多少影響がある →			
	影響はない →			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる →	理由又は内容	利用者からの読書相談に応えることができる技能を有する職員の配置を行うことで、施設の機能的限界を多少緩和することができる、	
	できない →			
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 →	類似事業名		
	ない → 庁外事業 →	類似事業との再編の可能性	ある → 内容	
			ない	
(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある →	内容		
	ない →			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある →	内容		
	ない →			
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 →	内容		
	ない → 検討が必要 → 受益者がいない			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	図書館を含む複合施設の建設計画を立て、平成28年度開館に向けて準備を推進を図る。					